



Kainan East Rotary

DISTRICT 264

CLUB

WEEKLY

BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 3-0800

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣才1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4F

会長 西岡 豊 幹事 小嵐俊和 会報委員会 ◎奥村 ○辻・池原・三木・新垣・山下

才501回 例会 昭和60年10月28日(月)午後12時30分 於海南商工会議所

1. 開 会 点 鐘 西岡 豊会長

2. ローターソング 「手に手つないで」

3. ビジター紹介 「和歌山いのちの電話」理事 北野愛子女史

4. 出席率の報告 会員総数 65名 出席者数 50名 出席率 76.92%
前回修正出席率 89.23%

5. 会長スピーチ 西岡 豊会長

今日は、ゲストとして「いのちの電話」北野先生が本日卓話にお見えになっております。先生よろしくお願い致します。去る25日に和歌山中R.C.が仮R.C.として誕生致しました。例会日は土曜日で、会場は「紀の国会館」夜間専門の例会のR.C.です。和歌山へ夜間メーキャップに行くのに、大変つごうが良からうかと思えます。メーキャップに又行って下さい。26日は去る7月に仮R.C.として発足致しました岩出R.C.が認証状の伝達式がありました。理事の方達にも出席して頂きました。盛大な会でした。水曜日が例会日です。12時30分からです。会場は又調べておきます。今日は秋晴のいい季節で仕事もお忙しく見えて、欠席の人もありますが、これも商売あっての事ですから、やむをえないと思えます。

6. 卓 話 北野愛子「和歌山いのちの電話」理事

北野先生を御紹介します。(財)「関西カウンセリングセンター」カウンセラー「和歌山いのちの電話」理事をなさり、訓練部長として相談員のお世話をなさり去年10月・11月「社」国際婦人教育振興会の代表で、全国4人のうちの1人として、スイス・オーストリアに婦人問題、婦人教育研究員として派遣されました。家庭では3人の子供達の良き母であり、すばらしい方でございます。

先生のプロフィールです。 紹介者 中村雅行君

皆様こんにちは、只今御紹介にあづかりました北野です。「ロータリアン」の皆様は、ボランティア精神を発揮され社会に還元されているとの事ですが、私達の「いのちの電話」と同じですが、私はここで食事をいただきながら、暖かい雰意気を感じております。私の仕事はカウンセラーとして、1対1で面接し、カウ

YOU ARE THE KEY

「あなたが鍵です」

Edward

ンセリングをするのが仕事です。私は1人の人に対して、ただひたすら聞くという事が大事なので、聞く事の勉強はずい分してきたつもりですが、人の前で、話をする事は、まだまだ不慣れでございます。今日は海南省に於てトップをかざる紳士の前で、話を出来る光栄をしみじみ感じますが、十分な話が出来ませんので許して下さい。「和歌山のいのちの電話」という事ですが、10月29日、めでたく開局できました。現在、物が沢山出廻り、心の貧困がいわれて久しいですが、日本人は、心の部分では心情として心を大事にする国民性であると思います。現在自分自身の心をどういった形に充足していこうかと、今芽が向いているのではないのでしょうか。主婦の方は現在のライフサイクルの形が昔と異なり、子供は二人家庭ではすっかり電化製品により、時間のゆとりが、私の母の時代とは、考えられない生活サイクルの変化です。余った時間がずい分でてまいりました。一方、夫達は日本株式会社という生産性向上が最重要視される時代にあって、持てるエネルギーをすべて、会社に還元している時代ではないのでしょうか。ロータリーの皆様は、こうして毎週、懇親会をなさり、心に余裕をもたれ生産性向上と、人間性を重視された方達でございます。

現在、夫達は家に帰って、「おい、めし、風呂、寝る」しか云わないと云われていますが、そんな中で、主婦は、ただ夫達から与えられるものだけを、求めているのでは、もうどうにもならない。自分を生きる時代であるというのが、切実に感じられてきた時代ではないのでしょうか。台所症候群とかという不適當な症状も出てまいりました。婦人が外へ目を向ける時代でもあり、子供達は今「青少年教育」月間として、子供達にも色々な問題をかかえていますね。又新聞紙上でも取り上げられています、中・高年層の男性の自殺が昨今多くなっています。和歌山県は全国第四位の自殺県ですが、私達は「いのちの電話」をぜひ設置したい。そういう思いで、色々な試みが、なされていた様に思います。私達もこういった事をしようと始めましたが、和歌山の県民性の中で、ボランティア活動を持続していく事が至難の業だと「十年早いと」か、「とても出来ない」とおおかたの予想でした。しかし、私達は絶対やらなければならないと思いました。

発起人会を開き、大学の教授や精神科医、実業会の人達と、35~36名でスタートしました。そして4月2日に電話相談員の養成を始めました。「いのちの電話」は各県に一つあります。御存知の様に、白浜に「いのちの電話」があります。えみ太郎さんがされています。「日本いのちの電話」と少し違い、えみさんは個人で「いのちの電話」を設置されています。自殺しかける人に、自分の家につれていかれ、面倒をみ、何数間も一諸に生活され、就職のあっせんもされる。えみ先生のなさる「いのちの電話」も私達の「いのちの電話」も同じ名前を名乗っていますが、えみ先生にも私達の連盟の理事の1人になって頂いております。和歌山「いのちの電話」の支店になっております。「いのちの電話」相談員は50時間以上の訓練を致します。「いのちの電話」養成訓練には、和歌山全域から参加

され、当海南市からも来て頂き、2万3千円の受講料と運賃代を自己負担して、頂くにもかかわらず、総数149名という方達が養成講座に参加して頂きました。

2時間半の講座を20講組み8月末に、規定の養成講座が無事終了し、130名の人達が、終了証書を手に入れました。10月21日に「和歌山のいのちの電話」が開局致しました。「いのちの電話」は寝むらぬダイヤルとして、24時間365日ずっと守り通すのが理想ですが、そうもまいりません。

本年一期生ですから、2本のラインに3人の人達が正午から夜の10時まで、10時間を5つのゾーンに分け、3人×5で1日15人の人達、1週間105人の人達、週に2時間さいて頂き月に8時間とって頂く、曜日は固定しない。アマチュア相談員ですから、曜日を固定すると、個人の性質がもろに、出ますから毎週色々と相談員が変わります。「いのちの電話」に相談をかけられる人は、家庭内でも、職場でも孤独であり、精神科、なりに予約を取れず、対人恐怖症の方、うつ病の方、落ちこみの強い方とか、電車に乗ってお医者さんと対面すら出来ない人達です。同じ時代に生きる隣人として、その方達の助けになればうれしい。助言したり説教したりだけをするのではなく、本当にその方達の土俵の中に入って、悩みに寄りそって、気持をしっかりと分ってあげる。そしてその方達が、又一步から前進して頂くということで「いのちの電話」はそういう形でカウンセリング方式を取っております。電話の特色は地理が一きょに短縮するという面と、心理的な距離も縮めるという事です。内しよ話は非常に親密感があると思います。又匿名でいられるという事は、相談員といつでも関係をたち切るという特色もあります。

一回生起という事は、相談員にもメリットがあります。

人生の岐路に立っている、悩める人には、非常に真剣に、誠意を込めて出来ると思います。人間というのは、何も世界的に著名な人の話を聞くよりも、生まれた赤ん坊のいたいけな笑顔をみている自分が、気持をいやされたりするものです。理屈に合わない事も人間には、あろうかと思えます。人が人にかかわるというのは全人格をかけて、人を動かせるのではないか。1週2時間のボランティアの相談員としての生活も、テレビや新聞をみても、自分は相談員なのだという事で、寝る時には深呼吸をし、心を落ちつけ祈るような気持で、電話のブースに入り、たった一回きり、かけた人と私が、はたして良かったのかと、自問自答したり致します。非常にしんどい仕事なのですが、自分自身の人間的な成長にもつながる事にもなろうかと思えます。この電話の一回生起という事で、関係している詩なのですが、私の好きな詩を朗読させて下さい。

「二度とない人生、だから一輪の花にも無限の愛をそそいでいきたい。一羽の鳥の声にも、無心の耳をかたむけていこう。

二度とない人生だから、一匹のコオロギにも殺さない様にしていこう。どんなにか喜ぶことだろう。

二度とない人生だから、便りをしよう。返事を必ず書こう。

二度とない人生だから、貧しいけれど、心豊かに接していこう。

二度とない人生だから、露草の露にもめぐりあいの不思議を思い、足もとを見つめていこう。

二度とない人生だから、昇る日、沈む日、丸い月、欠けていく月、四季それぞれの量の光にふれて、わが心を洗い浄めていこう。

二度とない人生だから、戦争のない世の中に努力していこう。そういう詩を一つでも多く作っていこう。私が死んだら私を継いでくれる若い人の為に詩を書き続けていこう。」

こういう詩なのですが、この詩の中には私達が人生の一回生起という事にするとどく目覚めた時、この世に出合う総ての事に、ものに、深く切実に関わるようになるかを彩やかに示されているように思うわけです。

私達「いのちの電話」相談員もこの詩人と同じように、一回生起の生命の出会いを通じて、一期一会の人生の尊さを、めざめされてつつあるわけです。今この出会いを大切にしよう。心こめて電話に接しよう。それ故にこそ、私達は戦争と並ぶ、もう一つの悲惨さ、死に致る孤独、地獄に致る絶望をこの世から絶滅し、願って詩を作るかわりに「生命の電話」の受話器を握って、一回でも多く、いのちの出命に寄りそって、日夜努力を重ねている私達です。

これは全部ボランティアなので、何と云っても資金がいきます。私達の運動が末永く、安定し持続出来ます様、皆様方の御協力をぜひお願い申し上げます。

一回きりの出会いでしたが、どうぞロータリアンの皆様、寒さも厳しくなります故、風邪などめされないで益々の御健祥と会の発展をお祈り致しまして、私の話の結びとさせていただきます。

ニコニコ・米山・BOX

- ① チャーターナイトに行って来ました。 西岡豊君
- ② 娘と銀座に行き、菊地病院で手厚い看護をして頂きました。 中尾公彦君
- ③ 土曜日、スポーツドクターの講習を受けました。 辻秀輝君
- ④ テレビ和歌山に私の顔が出ました。 坂上充作君
- ⑤ 先日メーカーに行きました。 山下倫弘君